



# 市民のひろば

## 掲示板

### ◆かほく音を楽しむ会 演奏会のお知らせ

ピアノ、フルート、オカリナ、ハーモニカ、二胡、ギターなど、日頃、イベントや家庭で楽器を楽しんでいる7つのグループが、今年で3回目となる演奏会を行います。私たちと一緒に演奏会を楽しみませんか。  
※入場無料

【日時】12月7日(日)  
(開場12時30分 13時〜15時30分)

【場所】基幹集落センター 2階ホール

【問い合わせ先】かほく音を楽しむ会(武内)

090・4782・3556



▲一昨年の11月に開催された演奏会(第1回)の様子

### ◆婦人会防災学習

香美市婦人会で防災学習会を開催します。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

【日時】12月2日(火)

13時30分〜開会

13時35分〜講演

『避難所における

トイレ事情について』

14時30分〜講演

『香美市の防災対策の

現状と取組』

15時〜講演

『LPガスの研修』

『日常の注意点と

災害時の対策』

16時10分〜閉会

【場所】プラザ八王子 3階大ホール

【その他】参加希望の方は、11月20日

までにお申し込みください。

【問い合わせ・申込み先】

香美市婦人会(中山)

090・4781・1670

### ◆天空の郷ウォーキング

土佐山田町の佐岡地区公民館から佐竹地区「天空の郷」を目指して、自然の中をのんびりウォーキングします。地元の方のお接待や音楽ライブなどのほか、今回は特別に、全盲のシンガーソングライター堀内佳さんに生歌を披露していただく予定です。ぜひご参加ください！

※参加無料

【日時】11月30日(日)

10時集合〜15時頃解散予定

【集合場所】佐岡地区公民館

【定員】70人 ※先着順

【注意事項】

・飲み物やお弁当は各自で

持参してください。

・事前申込が必要です。電

話でお申し込みください。

【イベント詳細はこちら】

【お問い合わせ先】

土佐山田弓友会(中井)

090・3787・9257

### ◆テニス参加者募集

ロッキーズテニスクラブでは、硬式テニスに興味があり、一緒に楽しむ方を募集しています。シニア、初心者者を問わず、どなたでも大歓迎ですので、ぜひご連絡ください！

【日時】毎週月・水曜日 9時〜11時

【場所】土佐山田テニスコート

【問い合わせ先】

ロッキーズテニスクラブ(鎌山)

090・3900・8613

### ◆土佐山田弓友会 弓道講習会

【開催日】11月9日(日)

【開催日】11月9日(日)

12時〜受付

12時30分〜開会式

12時45分〜矢渡し

13時〜講習・練習

16時40分〜閉会式

【場所】時久弓道場

(土佐山田町須江451)

【問い合わせ先】

土佐山田弓友会(中井)

090・3787・9257

かいて指導に心から感謝して研究に励んでいます。

私は、この大学のキャンパス環境もとても気に入っており、大学生活を楽しく過ごしています。特に印象に残っているのは大学祭で、焼きそばや焼肉がとても美味しかったこと、そして地域の皆さんの温かいおもてなしの気持ちに伝わってきたことです。

日頃から、香美市の地域の皆さんの優しさにも癒されています。以前、道端の草むら近くを歩いていると蛇に出くわし、通り掛かりの地元の方が心配そうな様子でした。翌日、同じ場所を通ると草むらがきれいになり、驚き、感動しました。このように、香美市で学生生活を送る中で、親切で支え合う温かいコミュニティで過ごせていることに心より感謝します。こちらで過ごした時間は、私の人生の大切な思い出として、これからも大事にしています。

今年8月に滋賀県で開催されたシンポジウム(磁気軸受国際会議)で撮影

## 新 第54回 美良布神社の狂言芝居

# 香美探訪記



大川上美良布神社では、元文・寛保(1736〜1744)年間から奉納芝居が行われるようになった。お城下では、藩命によって禁止されていたが、山や浦では禁が緩かったらしく、「豊作祈願お聞き届への御礼」という口実らしい。お通夜殿には人力の廻り舞台も構え、境内に観客が溢れたという。

「菅原伝授手習鑑」は、菅原道真の大宰府左遷を北野天満宮縁起から脚色された浄瑠璃芝居で、歌舞伎にも取り入れられた人気演目だが、延享三年(1746)、上方竹本座で初演されたものという。この演目が翌年、土佐の山間僻地の美良布神社境内で演じられた。

幕藩体制では生活や行動に厳しい制限を受け、遠流の国の田舎に半年ほどで台本が届いたとすると、特別なツテがあったと考える以外ないが、文化の驚く浸透力である。24時間のテレビ世代は、ラジオもテレビもない時代が想像できるだろうか。戦後の映画館が全盛の時代をご存知の方には、蕪生住民の熱気が想像いただければよい。

大坂と蕪生産品の商取引のあった山田野地の「大津屋」あたりが関わっているのであろう。お

城下に出たことのある者も少ない山村であるが、文化水準の高さか、農村に余裕が生まれ始めた頃かも知れない。寛政元年(1789)頃、蕪生谷に和食から「カラ芋」が伝わって、農民生活に余裕が出て来たと言われている。談議所で「美良布の芝居、あれは太布狂言じゃ」と評していた話が伝わる。植物繊維で織った着物を使う程度の低いものの意味と思われるが、蕪生農民の熱気への妬みに聞こえる。山田野地の芝居小屋「永楽座」が開業することへ連なり、「須江高野家文書」にも謡曲本、浄瑠璃集がある。ドッコイ、街に居住する田舎をヤシベル(いじめる)者に恰好の反撃材料として推薦する。現代とこの時代を比べて浴している恩恵を思うのも無駄ではない。

※参考資料『蕪生遺談』竹内重意(香美市文化財保護審議会・岡村)



▲大川上美良布神社内「通夜殿」外観



No.221

胡玉卓(フー・ユーズオ)

中国/遼寧省

私は遼寧省瀋陽市出身のフー・ユーズオと申します。現在高知工科大学大学院博士後期課程で機械システム制御の研究に取り組んでいます。私の故郷である瀋陽は、中国東北部に位置する歴史ある都市で、かつての清朝発祥の地として知られています。そのため「北京と瀋陽の明・清王朝皇宮」として、2004年にユネスコ世界文化遺産に共同登録されました。私は、このような伝統と近代産業が融合した街で育ちました。高度な工学技術への関心が高まる中、異なる教育環境で貴重な経験を積みたくと考え、高知工科大学大学院への進学を決意しました。入学当初はとても緊張していましたが、機械システム制御研究室の岡宏一教授が新入生の歓迎会を開いてくださり、研究室の仲間ともすぐに打ち解けることができました。日頃から、温



▲今年8月に滋賀県で開催されたシンポジウム(磁気軸受国際会議)で撮影